

The background of the cover features a dark, abstract network diagram with interconnected nodes and lines, suggesting a server or network environment. The diagram is rendered in a lighter shade of gray against a black background.

PCI-

USERS MANUAL

4PORT FAST ETHERNET SERVER ADAPTER

FXP-4AT

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

このマニュアルの構成

本マニュアルは以下のような構成になっております。

必ずお読み下さい

第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。



ご使用方法

第2章 ハードウェアのインストール

本製品をコンピュータに取り付ける際の手順およびネットワークへの接続方法について説明します。必ずお読みください。

第3章 ドライバのインストール

本製品を使用するためのドライバインストール手順を説明します。

第4章 ロードバランシング&フォルトトレランス

本製品のロードバランシング&フォルトトレランス機能を使用するための構成方法について説明します。

付録

付録A トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合の対応方法について説明します。

付録B SNMPエージェントの構成

本製品のSNMPエージェント機能を使用する場合の方法について説明します。

付録C WindowsNTのイベントログメッセージ

WindowsNTのイベントログに記録されるメッセージについて説明します。

付録D 800Mbpsネットワーク

800Mbpsネットワークの構築例を紹介します。

付録E 仕様

本製品の仕様について説明します。

マニュアル内の表記について
本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。

目次

第1章 はじめに

1-1	概要	1
2	特長	1
3	対応機種および対応OS	2
4	梱包内容の確認	2
5	各部の名称	3
6	ロードバランシング&フォルトトレランス機能について	4

第2章 ハードウェアのインストール

2-1	コンピュータへの取り付け	6
2	ネットワークへの接続	7
3	ネットワーク・ケーブルについて	8

第3章 ドライバのインストール

3-1	ドライバのインストール	9
2	インストールの確認	26
3	通信速度の設定	29
4	ドライバの削除	31

第4章 ロードバランシング&フォルトトレランス

4-1	インストールの準備	34
2	ソフトウェアのインストール	36
3	ステータスの確認および詳細設定	44
4	ソフトウェアの削除	51

付録A	トラブルシューティング	55
-----	-------------	----

付録B	SNMPエージェントの構成	57
-----	---------------	----

付録C	WindowsNTのイベントログメッセージ	59
-----	-----------------------	----

付録D	800Mbpsネットワーク	60
-----	---------------	----

付録E	仕様	61
-----	----	----

1-1 概要

本製品は、PCIバスを装備したIBM PC互換機で使用可能なバスマスタタイプの32ビットPCI 4ポート・ファストイーサネット・サーバ・アダプタです。IEEE802.3 10BASE-T/IEEE802.3u 100BASE-TX標準およびPCI Rev. 2.1に準拠し、ネットワーク上での伝送速度は100/10Mbpsです。ツイストペア・ケーブル接続用のRJ-45 STPポートを4ポート装備しています。

各ポートはAutonegotiation機能に対応しており、Autonegotiation対応のハブに接続すると転送速度(100/10Mbps)および転送モード(全二重/半二重)を自動認識します。

各ポートともステータスLEDを装備しており、容易にポートのステータスを確認する事が可能です。

本製品は、ロードバランシング&フォルトトレランス機能に対応しています。ロードバランシング機能により、4ポートを同時に使用して最大800Mbpsの転送速度を実現し、サーバ スイッチングハブ間の転送速度のボトルネックを解消します。さらに、フォルトトレランス機能により、あるポートで障害が発生した場合でも他のポートで通信を続行するのでネットワークの信頼性を高めることが可能です。

1-2 特長

- ・ IEEE802.3 10BASE-T/IEEE802.3u 100BASE-TXに準拠
- ・ 32ビット PCI Rev. 2.1バスマスタに対応
- ・ 100BASE-TX/10BASE-T接続用のRJ-45 STPポートを4ポート装備
- ・ Autonegotiation機能によりネットワークの種類を自動検出(100/10Mbps、全二重/半二重)
- ・ Full-Duplex(全二重)機能をサポート、200/20Mbpsのスピードを実現
- ・ 各ポートにステータスを示す3つのLEDインディケータを装備
- ・ ロードバランシング機能により最大800Mbpsでの通信が可能
- ・ 「ロードバランシング&フォルトトレランス」ソフトウェア付属
- ・ SNMPに対応

1-3 対応機種および対応OS

本製品の対応機種および対応OSは以下のようになっています。

対応機種

PCIスロットを装備したIBM PC互換機(DOS/V)

対応OS

WindowsNT4.0 ServerまたはWorkstation

「Service Pack5」または、「Service Pack3+NDIS Hot Fix」が適用されていること。

NDIS Hot Fixは以下のURLからダウンロード可能です。

<http://www.microsoft.com/japan/products/ntupdate/NT4SP3/ndisfix.HTM>

1-4 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

- ・ FXP-4AT サーバ・アダプタ
- ・ ドライバ・ディスク 1枚
- ・ このユーザーズマニュアル

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

1-5

各部の名称

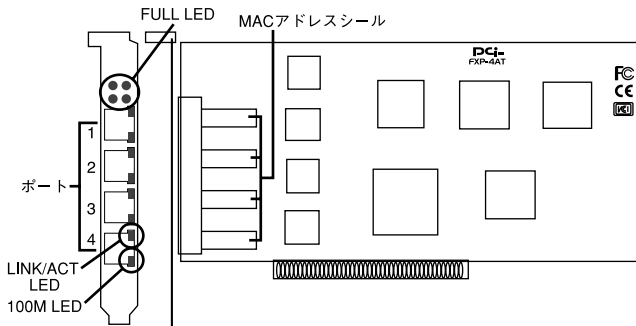


図1-1 FXP-4AT

- ・ポート1～4
100BASE-TX/10BASE-T接続用のRJ-45 STPポートです。
- ・LINK/ACT LED
このインディケータが点灯しているときは、適切なデータ・リンクがあることを意味します。このインディケータが点滅している場合はポートがデータの送受信を行っていることを意味します。
- ・100M LED
このインディケータが点灯している場合はポートが100Mbpsで通信していることを意味します。
- ・FULL LED
このインディケータが点灯している場合はポートが全二重で通信していることを意味します。
- ・MACアドレスシール
本製品の各ポートに固有のNode ID(MACアドレス)が記載されています。弊社のCompany IDである"0090CC"から始まる12桁の16進数です。

1-6 ロードバランシング&フォルトトレランス機能について

本製品をスイッチングハブに接続し、付属の「ロードバランシング&フォルトトレランス」ソフトウェアをインストールする事によりロードバランシング&フォルトトレランス機能を使用することが可能です。

ロードバランシング機能では本製品の複数のポートでセグメントを構成し最大800Mbpsでの送受信を行うことが可能です。サーバからの送信パケットは各ポートに均等に割り当てられ最大400Mbps(4ポート×100Mbps)で送信されます。サーバへの受信パケットはネットワークに接続されているクライアント等の機器の台数により使用されるポート数が異なります。クライアントが1台であれば1ポート(100Mbps)、2台であれば2ポート(200Mbps)と増加していき、4台以上であれば4ポート全てを使用し、最大400Mbps(4ポート×100Mbps)で受信されます。これにより本製品をインストールしたサーバとスイッチングハブ間の転送速度のボトルネックを解消します。

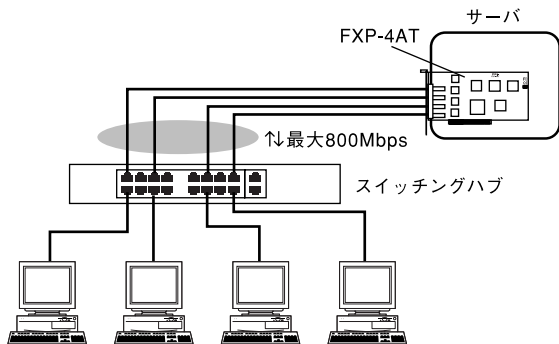


図1-2 ロードバランシング機能

フォルトトレランス機能はロードバランシング機能と同時に機能します。複数のポートで構成されたセグメントのあるリンクで障害が発生したときに、残りのリンクで通信を続行します。これによりネットワークの信頼性を高めることが可能となります。

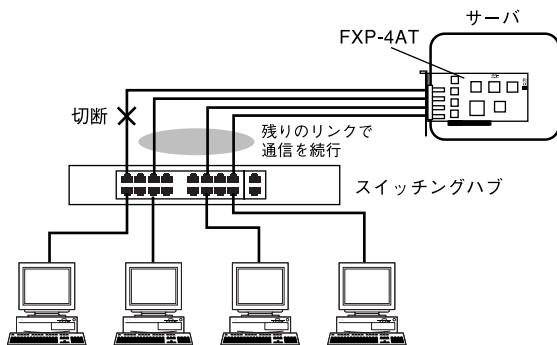


図1-3 フォルトトレランス機能

注意

- ・ロードバランシング&フォルトトレランス機能を使用する場合は、本製品を必ずスイッチングハブに接続してください。
- ・本製品をNetBEUIプロトコルで使用した場合は、ロードバランシング機能は動作しません。NetBEUIプロトコルを使用した場合は1ポートのみでの通信となります。フォルトトレランス機能についてはNetBEUIプロトコルでも動作します。

本章では、本製品のコンピュータへの取り付け方法およびネットワークへの接続方法について説明します。

2-1 コンピュータへの取り付け

⚠ 注意

取り付けを開始する前に本製品が静電気で破損しないように、コンピュータのシャーシの金属部分を触るなどしてあらかじめ体内の静電気を放電しておいてください。また静電気を放電した後も、常にボードの端を持つようにし、ボード上の部品や金色の端子部分（エッジコネクタ）には触れないようにしてください。

1. コンピュータの電源を切り、次にコンピュータのカバーを外してください。カバーの外しかたについてはコンピュータのマニュアルを参照してください。
2. 空いているPCIスロットのカバーを外してください。

⚠ 注意

本製品は、バスマスタ・スロットでのみ動作します。コンピュータ付属のマニュアルを参照し、バスマスタ・スロットを確認してください。

3. PCIスロットに本製品をしっかりと挿し込んでください。
4. PCIスロットのカバーを固定していたネジで、本製品をコンピュータに固定してください。

2-2 ネットワークへの接続

本製品は100BASE-TX/10BASE-Tネットワークへの接続用にRJ-45 STPポートを4ポート装備しています。接続についての詳細は以下のセクションを参照してください。

100BASE-TX Fast Ethernetネットワークへの接続

本製品を100BASE-TX Fast Ethernetネットワークに接続するには、両端にRJ-45コネクタの付いたツイストペアCategory 5のストレートケーブル(弊社型番 UTP-xx-05,UTP-xx-DT等)が必要です。ケーブルの最大長は100メートルです。以下の手順にしたがって接続してください。

1. ケーブルの一端を本製品のいずれかのRJ-45ポートに差し込みます。
2. ケーブルのもう一端を100BASE-TX Fast Ethernetハブに差し込みます。

10BASE-T Ethernetネットワークへの接続

本製品を10BASE-T Ethernetネットワークに接続するには、両端にRJ-45コネクタの付いたツイストペアCategory 3または5のストレートケーブル(弊社型番 UTP-xx-05等)が必要です。ケーブルの最大長は100メートルです。以下の手順にしたがって接続してください。

1. ケーブルの一端を本製品のいずれかのRJ-45ポートに差し込みます。
2. ケーブルのもう一端を10BASE-T Ethernetハブに差し込みます。

2-3**ネットワーク・ケーブルについて**

100Mbpsでのネットワーク操作を確実にするには、ツイストペアCategory 5のケーブルを使用する必要があります。

10Mbpsでのネットワーク操作には、ツイストペアCategory 3以上のケーブルを使用してください。

本製品をハブに接続する場合は、ストレートタイプのツイストペア・ケーブル(弊社型番 UTP-xx-05,UTP-xx-DT等)を使用してください。

ハブを使用せずに2台のコンピュータを直接接続する場合は、クロス・ケーブル(弊社型番 UTP-xx-05CR等)を使用してください。

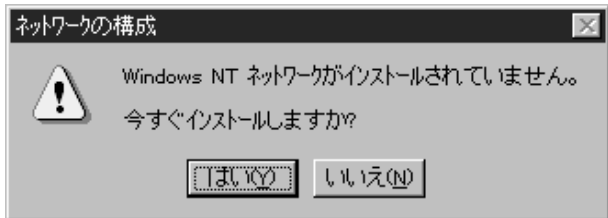
本章では本製品をWindowsNT4.0環境で使用する場合のドライバのインストール方法について説明します。

3-1 ドライバのインストール

WindowsNT4.0では、はじめてネットワークを設定する場合とすでにネットワークの設定を行ったことがある場合とでドライバのインストール方法が異なります。

はじめてネットワークの設定を行う場合

1. 本製品をコンピュータのPCIスロットにセットした状態で、コンピュータの電源を入れWindowsNT4.0を起動してください。
2. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と開いてください。
3. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。
4. 「WindowsNTネットワークがインストールされていません。」メッセージが表示されます。[はい]ボタンをクリックしてください。



5. 「ネットワークセットアップ」ウィザードが表示されます。「ネットワークに接続」を選択して[次へ] ボタンをクリックしてください。



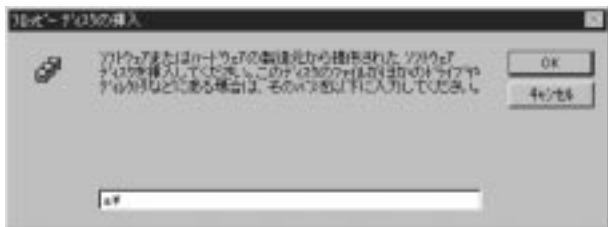
6. アダプタの検索の画面が表示されます。ここでは検索は行わないで[一覧から選択] ボタンをクリックしてください。



7. アダプタの選択の画面が表示されます。[ディスク使用] ボタンをクリックしてください。



8. 本製品付属のドライバディスクをフロッピードライブにセットしてください。ドライバのパスに a:¥ (フロッピードライブがAドライブの場合)と入力して[OK]ボタンをクリックしてください



い。

9. 「OEMオプションの選択」ウィンドウが表示されます。「PLANEX FXP-4AT Fast Ethernet Server Adapter」を選択し[OK]ボタンをクリックしてください。



10. 「ネットワークアダプタ」の「PLANEX FXP-4AT Fast Ethernet Server Adapter」がチェックされていることを確認して[次へ]ボタンをクリックしてください。



11. 必要なネットワークプロトコルをチェックして[次へ] ボタンをクリックしてください。



⚠ 注意

以降の説明はTCP/IPプロトコルのみを選択した場合の説明です。必要なプロトコルについてはネットワーク管理者にご相談ください。

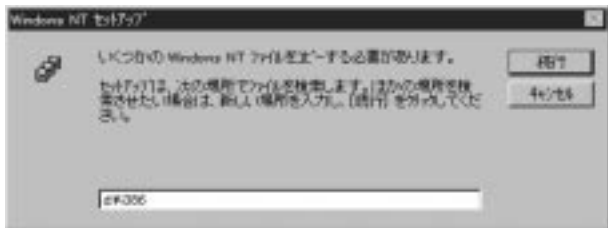
12. ネットワークサービスの追加画面が表示されます。追加が必要であれば[一覧から選択] ボタンをクリックして追加を行ってください。



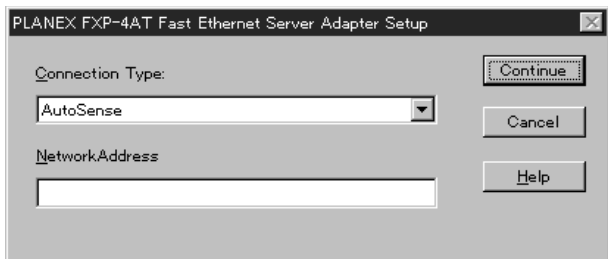
13. [次へ]ボタンをクリックしてください。



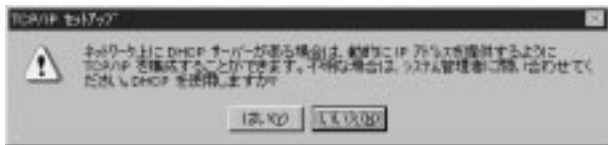
14. ファイルの検索場所を入力する画面が表示されます。d:\i386 と入力し (CD-ROMドライブがD:ドライブの場合)、[続行] ボタンをクリックしてください。



15. FXP-4ATの設定画面が表示されます。「Connection Type」で転送速度を選択し [Continue] ボタンをクリックしてください。初期値は「AutoSense」に設定されています。各ポート用に4回表示されるので全てのポートを設定してください。



16. DHCPサーバを使用するか確認する画面が表示されます。ネットワーク管理者に確認しDHCPサーバを使用するのであれば[はい]をしないのであれば[いいえ]をクリックしてください。



17. [いいえ] をクリックした場合は、IPアドレスの入力画面が表示されます。IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス等必要な値を入力し [適用] ボタンをクリックしてください。ネットワーク管理者に相談し、必要であればDNSやWINSアドレスの設定も行ってください。4ポート全ての設定が終了したら [OK] ボタンをクリックしてください。



18. バインドの設定画面が表示されます。[次へ] ボタンをクリックしてください。



19. 「ネットワークを起動する準備が整いました。」のメッセージが表示されます。[次へ] ボタンをクリックしてください。



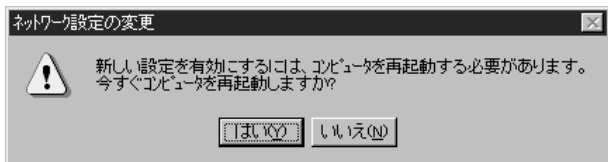
20. ワークグループ名を入力する画面が表示されます。ワークグループ名またはドメイン名を入力して[次へ]ボタンをクリックしてください。



21. [完了]ボタンをクリックしてください。

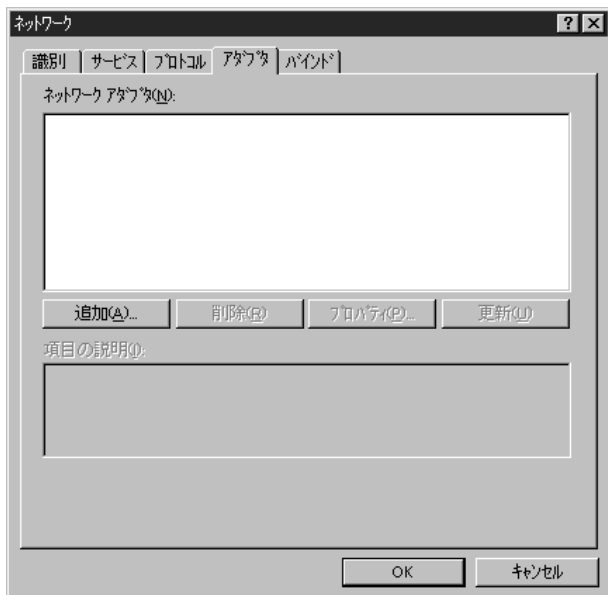


22. フロッピーディスクを取り出してから、[はい] ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。



すでにネットワークの設定を行ったことがある場合

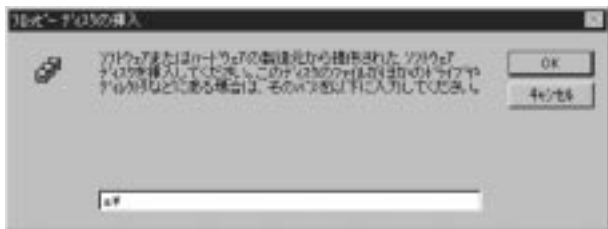
1. 「マイコンピュータ」 「コントロールパネル」と開いてください。
2. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。
3. 「ネットワーク」ウインドウが表示されたら、[アダプタ] タブをクリックしてください。



- [追加]ボタンをクリックしてください。
- アダプタのリストが表示されるので[ディスク使用]ボタンをクリックしてください。



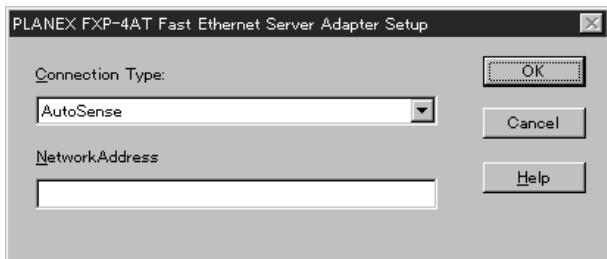
- 本製品付属のドライバディスクをフロッピードライブにセットし、ドライバのパスに a:¥ と入力して[OK]ボタンをクリックしてください。



7. 「OEMオプションの選択」ウィンドウが表示されます。「PLANEX FXP-4AT Fast Ethernet Server Adapter」を選択し[OK]ボタンをクリックしてください。



8. FXP-4ATの設定画面が表示されます。「Connection Type」で転送速度を選択し[OK]ボタンをクリックしてください。初期値は「AutoSense」に設定されています。各ポート用に4回表示されるので全てのポートを設定してください。



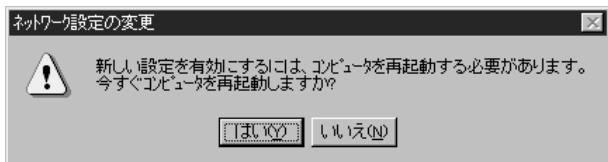
9. 「ネットワーク」ウィンドウに戻るので[閉じる] ボタンをクリックしてください。



10. TCP/IPプロトコルがインストールされている場合、IPアドレスの入力画面が表示されます。IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス等必要な値を入力し[適用] ボタンをクリックしてください。ネットワーク管理者に相談し、必要であればDNSやWINSアドレスの設定も行ってください。4ポート全ての設定が終了したら[OK]ボタンをクリックしてください。



11. フロッピーディスクを取り出してから、[はい] ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。



3-2 インストールの確認

ドライバのインストールが終了したら以下の手順でインストールが正常に終了したかを確認してください。

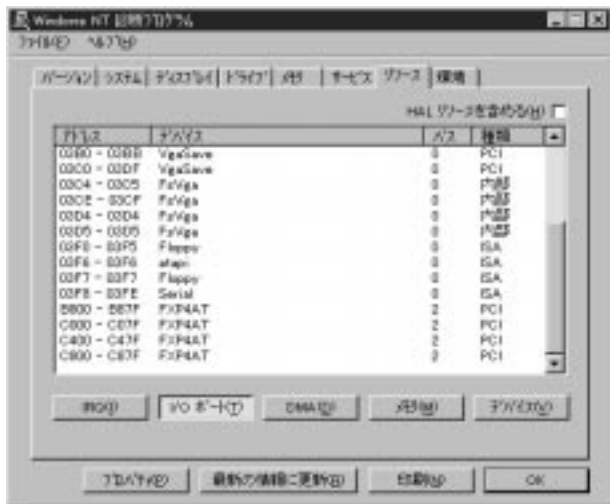
1. 「スタート」メニュー 「プログラム」 「管理ツール」 「WindowsNT診断プログラム」と選択してください。
2. 診断プログラムが起動したら [リソース] タブをクリックしてください。



3. [IRQ] ボタンをクリックしてください。本製品はリソース画面上では"FXP4AT"という名前で表示されます。いずれかのIRQが割り当てられていることを確認してください。



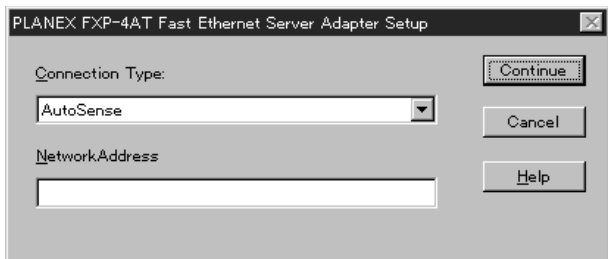
4. [I/Oポート] ボタンをクリックしてください。本製品はリソース画面上では"FXP4AT"という名前で表示されます。いずれかのI/Oポートが割り当てられていることを確認してください。



3-3 通信速度の設定

本製品の各ポートの通信速度は、初期設定ではAutoNegotiation (AutoSense) に設定されています。この設定では、通信速度および通信モードをAutoNegotiation機能により自動認識します。通信速度設定を変更する場合は以下の手順で設定を行ってください。

1. [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックしそこから [コントロールパネル] をダブルクリックしてください。
2. [ネットワーク] アイコンをダブルクリックしてください。
3. [アダプタ] タブをクリックしてください。
4. 変更したいポートを選択して [プロパティ] ボタンをクリックしてください。
5. [Connection Type] を設定してください。以下の設定が可能です。



- 100BaseTx
通信速度が100BASE-TX/半二重に固定となります。
 - 100BaseTx Full_Duplex
通信速度が100BASE-TX/全二重に固定となります。
 - 10BaseT (Twisted_Pair)
通信速度が10BASE-T/半二重に固定となります。
 - 10BaseT Full_Duplex
通信速度が10BASE-T/全二重に固定となります。
 - 10BaseT No_Link_Test
通信速度が10BASE-T/半二重に固定となります。またリンクテストを行いません。
 - AutoSense
AutoNegotiation機能により通信速度(100BASE-TX/10BASE-T)および通信モード(全二重/半二重)が自動認識されます。
 - AutoSense No_Nway
通信速度(100BASE-TX/10BASE-T)を自動認識します。通信モードは半二重固定になります。
6. [OK] ボタンをクリックしてください。
7. [閉じる] ボタンをクリックしてください。コンピュータを再起動するよう画面で指示してきます。[はい] ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。

3-4 ドライバの削除

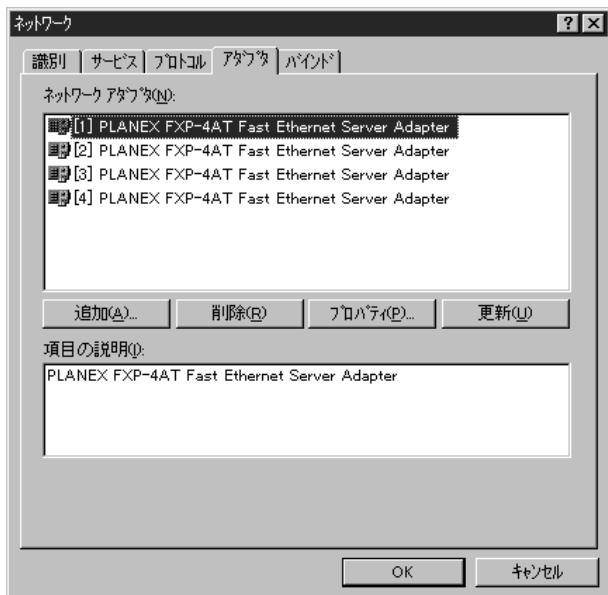
本製品のドライバを削除する場合は以下の手順で実行してください。

注意

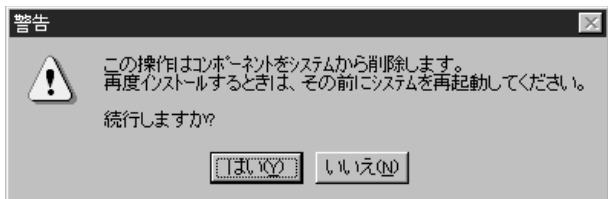
「ロードバランシング&フォルトトレランス」ソフトウェアをインストールしている場合は、「4-4 ソフトウェアの削除」の手順で、先にソフトウェアの削除を行ってください。

1. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と開いてください。
2. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。
3. 「ネットワーク」ウィンドウが表示されたら、[アダプタ] タブをクリックしてください。

4. ネットワークアダプタのリストから「PLANEX FXP-4AT Fast Ethernet Server Adapter」を選択して[削除] ボタンをクリックしてください。

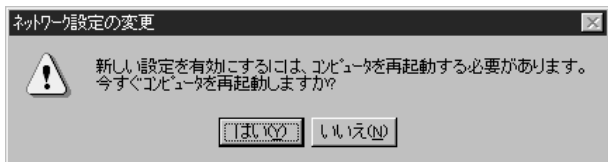


5. 削除の警告画面が表示されるので[はい] ボタンをクリックして続行してください。4ポート全てを削除してください。



6. [閉じる] ボタンをクリックしてください。

7. [はい] を選択してコンピュータを再起動してください。



本製品のロードバランシング&フォルトトレランス機能を使用するには、付属のドライバディスクから「ロードバランシング&フォルトトレランス」ソフトウェアをインストールする必要があります。

4-1 インストールの準備

「ロードバランシング&フォルトトレランス」ソフトウェアを使用するには、以下の環境が必要です。

ソフトウェア環境

- ・ WindowsNT4.0が正常に動作していること。
- ・ 「Service Pack5」または「Service Pack3+NDIS Hot Fix」が適用されていること。
- ・ SNMP管理機能を使用する場合は、SNMPサービスが必要です。
- ・ 本製品のドライバが正常にインストールされていること。

NDIS Hot Fixは以下のURLからダウンロード可能です。

<http://www.microsoft.com/japan/products/ntupdate/NT4SP3/ndisfix.HTM>

注意

SNMPサービスをインストールした後は必ずService Pack5またはService Pack3を再度適用してください。Service Pack3を適用した場合は、必ずNDIS HotFixも再度適用してください。

ネットワークハードウェア環境

- ・ スイッチングハブ(弊社型番 FHSW-1616NW、FHSW-2424NW、FHSW-8080NW等)

FHSW-1616NW/FHSW-2424NWを使用する場合は、本製品を接続するポートのTrunk機能を必ず無効に設定してください。

以上の環境が準備できているか確認してください。

4-2 ソフトウェアのインストール

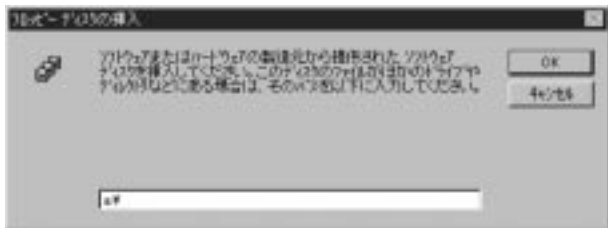
1. 本製品のポート1のみをスイッチングハブに接続してください。
2. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と開いてください。
3. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。
4. 「ネットワーク」ウインドウが表示されたら、[プロトコル] タブをクリックしてください。



- [追加] ボタンをクリックしてください。
- プロトコルのリストが表示されるので[ディスク使用] ボタンをクリックしてください。



- 本製品付属のドライバディスクをフロッピードライブにセットし、ドライバのパスに a:¥ と入力して[OK] ボタンをクリックしてください。



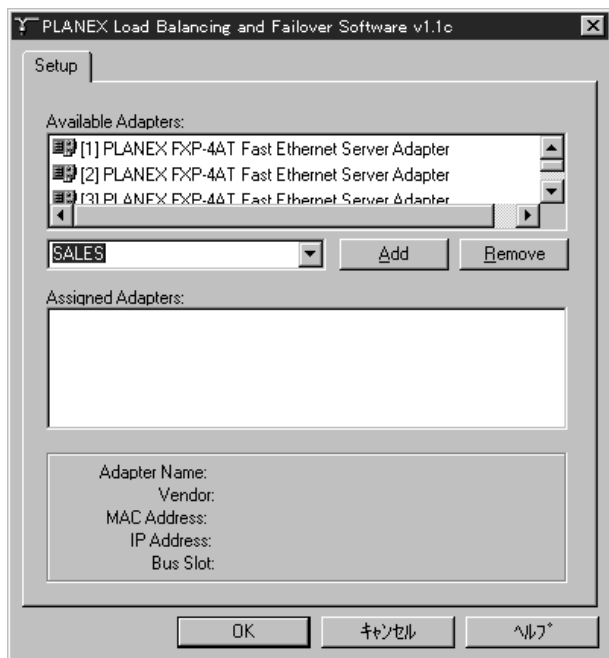
8. 「OEMオプションの選択」ウィンドウが表示されます。「Planex Load Balancing and Failover Software」を選択し [OK] ボタンをクリックしてください。



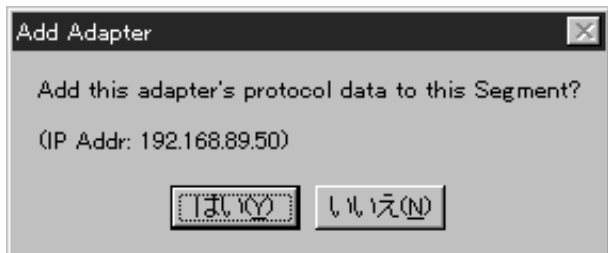
- システムに、「SNMPサービス」がインストールされていない場合は、ここで以下のメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックしてください。



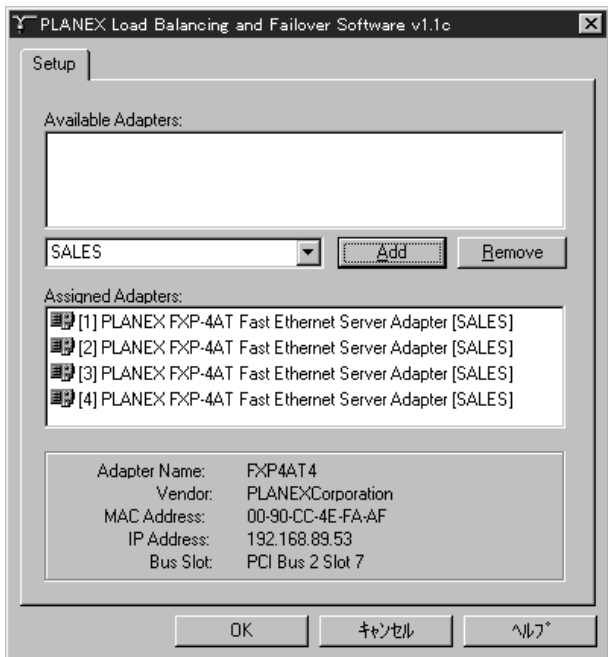
9. 「Setup」ウィンドウが表示されます。「New Segment」と表示されているところに任意のセグメント名を入力してください。



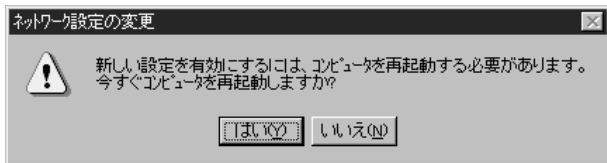
- 10.「Available Adapters」からセグメントに追加するアダプタを選択して[Add] ボタンをクリックしてください。確認のメッセージが表示されるので[はい] ボタンをクリックしてください。



11. 複数のセグメントを構成することも可能です。全てのアダプタをいずれかのセグメントに追加したら [OK] ボタンをクリックしてください。(構成は後で変更可能です。)



12. ファイルのコピーが終了すると、「ネットワーク」ウィンドウに戻ります。[閉じる] ボタンをクリックしてください。
13. フロッピーディスクを取り出してから、[はい] ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。



14. 本製品の残りのポートをスイッチングハブに接続してください。

⚠ 注意

セグメント構成後は、本製品の各ポートは「Planex Virtual Adapter」という名前で各プロトコルから認識されます。



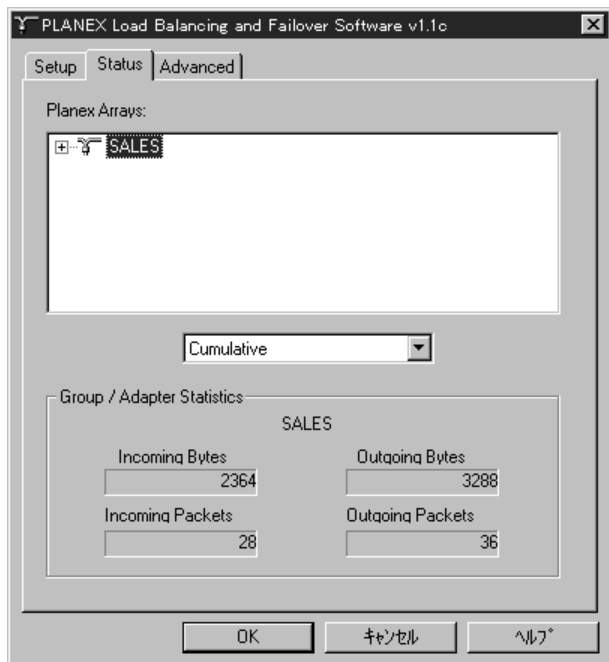
4-3 ステータスの確認および詳細設定

「ロードバランシング&フォルトトレランス」ソフトウェアを使用して各ポートのステータスを確認することが可能です。

1. [マイコンピュータ] [コントロールパネル] [ネットワーク] と選択してください。
2. [プロトコル] タブをクリックして、[Planex Transport] を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックしてください。

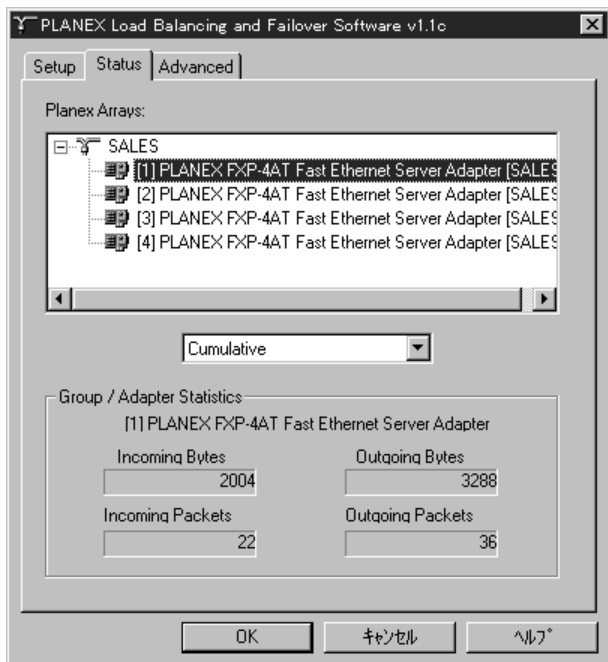


- 「Setup」画面が表示されるので、[Status] タブをクリックしてください。
- 以下のような「Status」画面が表示されます。



各ポートのステータス確認

セグメント名の左の「+」をクリックすると各ポートのアイコンが表示されます。各ポートのステータスはアイコンの色および状態によって表されます。





緑色のアイコン

ポートは現在正常に動作しています。また、このポートではこれまでに一度もエラーが発生していません。



緑色のアイコンに「x」マーク

ポートは現在ダウン状態です。このポートで発生した初めてのエラーです。



黄色のアイコン

ポートは現在は正常に動作していますが、このポートでは過去にエラーが発生したことがあります。



黄色のアイコンに「x」マーク

ポートは現在ダウン状態です。また、このポートでは過去に複数回のエラーが発生しています。



赤色のアイコン

ポートは現在無効になっています。これは、このポートで、1時間に3回以上(初期値)のエラーが発生していることを意味します。

ポートのステータスの変化はWindowsNTのイベントログに記録されます。詳しくは付録C「WindowsNTのイベントログメッセージ」を参照してください。

統計情報の表示

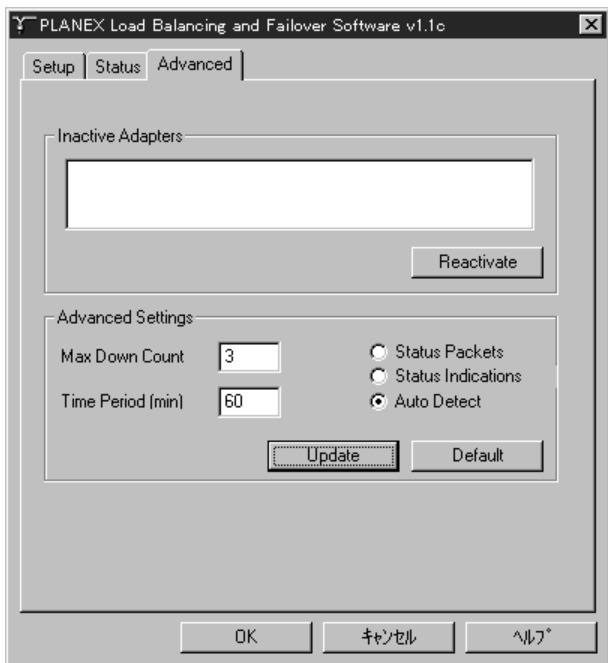
各ポートのアイコンまたはセグメント名をクリックして選択すると、ステータス画面の下部にポートまたはセグメントの統計情報が表示されます。統計情報には、受信バイト数/パケット数、送信バイト数/パケット数があります。また、ステータス画面中央のメニューで表示モードをCumulative(累積表示)とPer Second(毎秒表示)に切り替えることが可能です。

詳細設定

[Advanced] タブをクリックすると詳細設定画面が表示されます。ここでは、無効になったポートを再度有効にすることと、ポートが無効になるまでの条件を設定することが可能です。

無効になっているポートがある場合は「Inactive Adapters」に表示されます。有効にしたいポートを選択して、[Reactivate] ボタンをクリックしてください。

「Advanced Settings」では以下の項目が設定可能です。



Max Down Count : ポートが無効になるまでのエラーの回数を設定します。次の「Time Period」で設定した時間内にここで設定した回数のエラーが発生するとそのポートは無効となります。初期設定値は3(回)です。

Time Period[min] : 「Max Down Count」により、ポートが無効になるまでの時間を設定します。ここで設定した時間内に「Max Down Count」で設定した回数のエラーが発生するとそのポートは無効になります。初期設定値は60(分)です。

検出方法 : エラーの検出方法を設定します。「Status Packets」では、あるポートから別のポートにステータスパケットを送信し、そのパケットが受信されればそのポートは正常であると判断します。「Status Indications」では、NDIS4.0の機能であるステータス報告機能を使用します。「Auto Detect」では、起動時に「Status Packets」と「Status Indications」から最適な方法を自動選択します。

設定を変更したら、[Update] ボタンをクリックしてください。この時点で変更が有効となります。コンピュータを再起動する必要はありません。また、コンピュータを再起動した後も設定は保持されます。[Default] ボタンをクリックすると設定を初期状態に戻すことが可能です。[Default] ボタンをクリックした後に[Update] ボタンをクリックしてください。

4-4

ソフトウェアの削除

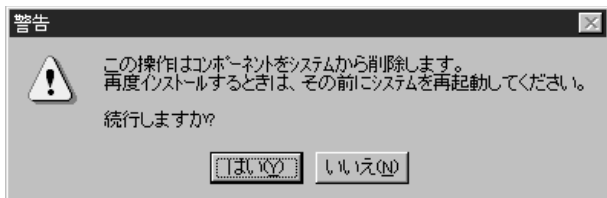
「ロードランシング&フォルトトレランス」ソフトウェアを削除する場合は、以下の手順で行ってください。

1. 本製品のポート1のみを残して、他のポートはスイッチングハブから外してください。
2. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と開いてください。
3. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。
4. 「ネットワーク」ウインドウが表示されたら、[プロトコル] タブをクリックしてください。

5. 「Planex Transport」を選択し、[削除]ボタンをクリックしてください。



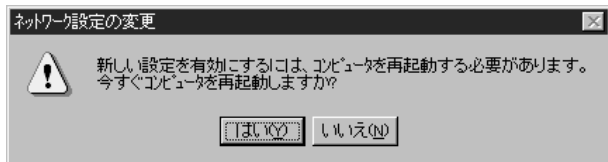
6. 削除の警告メッセージが表示されるので[はい] ボタンをクリックしてください。



7. [閉じる] ボタンをクリックしてください。



8. [はい] ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。



ドライバインストール時に本製品が認識されない。

本製品がコンピュータのPCIスロットにしっかりとインストールされているか確認してください。

本製品をインストールしたPCIスロットがPCI Rev.2.1 バスマスタに対応しているか確認してください。

本製品を別のPCIスロットにインストールしてみてください。

Link LEDが点灯しない。

ドライバのインストールが正常に終了し、コンピュータとハブの両方の電源が入っているにも関わらずアダプタ、ハブ両方のLink LEDが点灯しない場合は、ネットワークケーブルまたはケーブル接続の不良が考えられます。以下の点をご確認ください。

ネットワークケーブルがアダプタ、ハブ双方にしっかりと接続されているか確認してください。

クロスケーブルを使用していないか確認してください。ネットワークに接続するためにはストレートケーブルを使用する必要があります。

他のネットワークに正常に接続できている機器とケーブルを交換し、ケーブルが不良でないか確認してください。

ドライバのインストールが正常に終了し、Link LEDが点灯しているのに通信できない。

コントロールパネルのネットワークで使用しているプロトコルやワークグループ(ドメイン)名等の設定を確認してください。プロトコルとワークグループ(ドメイン)名はネットワーク上ですべて同じに設定する必要があります。また、TCP/IPプロトコルを使用している場合はIPアドレスを設定する必要があります。設定についてはネットワーク管理者に相談してください。

WindowsNTが正常に起動しない、または動作中にハングアップする。

「ロードバランシング&フォルトトレランス」ソフトウェアをインストールした場合は、「Service Pack5」または、「Service Pack 3+NDIS Hot Fix」が適用されているか確認してください。Service Pack適用後に何らかのネットワークサービスをインストールした場合は、必ず再度「Service Pack5」または、「Service Pack 3+NDIS Hot Fix」を適用してください。

「ロードバランシング&フォルトトレランス」ソフトウェアが動作しない。

本製品をスイッチングハブに接続しているか確認してください。「ロードバランシング&フォルトトレランス」機能を使用する場合は本製品をスイッチングハブに接続する必要があります。NetBEUIプロトコルを使用している場合は、ロードバランシング機能は動作しません。NetBEUIプロトコルを使用した場合は1ポートのみでの通信となります。フォルトトレランス機能についてはNetBEUIプロトコルでも動作します。

本製品はSNMPエージェント機能に対応しています。SNMPエージェントを構成することにより、ポートで障害が発生したとき等にSNMP管理コンソールにトラップを送信する事が可能になります。

SNMPトラップには以下の4つがあります。

- ・ポートがダウンした場合
- ・ポートがダウン状態から復帰した場合
- ・1ポートを残して他の全てのポートがダウンした場合
- ・全てのポートがダウンした場合

「ロードバランシング&フォルトトレランス」ソフトウェアをインストールしたときにシステムに「TCP/IPプロトコル」と「SNMPサービス」がすでにインストールされていると、SNMPエージェント機能は自動的に有効になります。ソフトウェアのインストール時に「TCP/IPプロトコル」と「SNMPサービス」がインストールされていなかった場合は以下の手順でSNMPエージェント機能を有効にしてください。

1. 「TCP/IPプロトコル」と「SNMPサービス」がインストールされていない場合はインストールを行ってください。インストール手順につきましては、WindowsNT付属マニュアルをご参照下さい。

 注意

SNMPサービスをインストールした場合は、必ずService Pack5またはService Pack3を再度適用してください。Service Pack3を適用した場合は、必ずNDIS HotFixも再度適用してください。

2. 「コントロールパネル」の「ネットワーク」を開き、[プロトコル] タブをクリックしてください。
3. 「Planex Transport」を選択し、[更新] ボタンをクリックしてください。
4. OEMファイルのパスを入力する画面が表示されます。本製品付属のドライバディスクをフロッピードライブにセットし、a:¥ と入力して[続行] ボタンをクリックしてください。
5. [閉じる] ボタンをクリックしてください。
6. コンピュータを再起動するよう指示する画面が表示されます。[はい] ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。
7. 本製品付属のドライバディスクに含まれる、*.MIBファイルで、ご使用のSNMP管理ソフトウェアを更新してください。

各ポートでエラーまたはステータスの変化が発生すると、以下のようなメッセージがWindowsNTのイベントログに記録されます。

ポートがダウンした場合

The adapter <アダプタ名> in <セグメント名> has lost network connectivity and has been removed from the Planex Array.

セグメントで正常なポートが1ポートのみになった場合

There is only one functioning adapter in <セグメント名> left.

セグメントの全てのポートがダウンした場合

All adapters in <セグメント名> are down; therefore, users on this segment can no longer communicate to this computer.

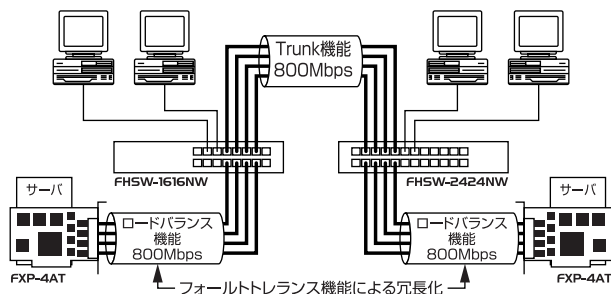
ポートがダウン状態から正常状態に復帰した場合

The adapter <アダプタ名> in <セグメント名> has regained network connectivity and has been inserted back into the Planex Array.

ポートで複数回のエラーが発生し、ポートが無効になった場合

The adapter <アダプタ名> in <セグメント名> has lost network connectivity and has been removed from the Planex Array. The adapter has gone down <##> times in the past <##> minutes; therefore, the adapter will not be put back into the array. It is advisable that you investigate the cause of the lost connections and possibly replace the adapter or cable.

Trunk機能を備えたスイッチングハブ(弊社製品型番:FHSW-1616NW/FHSW-2424NW)で構成した800Mbpsラインと、サーバに装着したFXP-4ATのロードバランシング機能を組み合わせると、基幹ネットワークを全て800Mbps化(全二重時)することができます。既存のLANからの移行も簡単で、コストパフォーマンスの高いソリューションです。



Trunk機能とロードバランシング機能による800Mbpsネットワーク構築例

バスタイプ	: 32ビットPCI(バスマスタ) PCI Rev.2.1
データ転送方式	: バスマスタ方式
アクセス方法	: CSMA/CD 10/100Mbps
対応標準	: IEEE 802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX
対応メディア	: UTP/STPケーブル
10Mbps	: カテゴリ3以上
100Mbps	: カテゴリ5
ポート数	: 10/100Mbps RJ-45ポート × 4ポート
設定方法	: Autonegotiation
LED表示	: LINK/ACT、100M、FULL
入力電源	: 5V DC
消費電力	: 最大7.5W
動作温度	: 0 ~ 40
動作湿度	: 35 ~ 85%(結露しないこと)
寸法	: 190 × 100mm
EMI	: FCC Class B、CE Class B、VCCI Class B

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは
お気軽に下記へご連絡ください。

なお「ユーザー登録はがき」をご返送またはホームページにて
ユーザー登録をおこなっていただいていない場合には、
一切サポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

FAX：03-3256-9207

受付時間

月曜日～金曜日(祭日は除く)

10:00～12:00・13:00～17:00

ご質問の受付やドライバのアップデートを
下記wwwサーバで行なっておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL: info-planex@planex.co.jp

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

質問票

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行
FAX : 03-3256-9207

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名	4PORT FAST ETHERNET SERVER ADAPTER
型番 Product No.	FXP-4AT
製造番号 Serial No.	

INTERFACE
CARD

IRQ	
I/Oポート	

ソフトウェア

ネットワークOS	バージョン
OS	バージョン

ご使用の
パソコン
について

メーカー			
型番			
その他使用中のカード(SCSI / Sound Card等)	IRQ	I/O ADDR	

使用区分 サーバー クライアント

診断プログラムが添付されているカードの場合には、テスト結果
をご記入ください。

トラブル(エラーメッセージ)発生時とその具体的な場所

パソコン起動時

INTERFACE CARD構成時

CONFIG.SYS読み込み中

バッチファイル読み込み中

その他

質問内容

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

保証規定

この製品は、厳密な検査に合格したものです。保証期間内に、お客様の正常なご使用状態の元で万一故障した場合には、本保証規定に従い無償で修理をさせていただきます。

ご購入後1ヵ月以内に発生した故障については初期不良交換対象となります。1ヵ月を過ぎた場合は修理扱いとさせていただきますのでご了承ください。なお、弊社はセンドバック方式をとらせていただいております。

故障の場合には、製品をお客様送料ご負担にて郵送していただき、弊社まで修理をご依頼ください。

ただし、次のような場合には保証期間内においても、有償修理となります。

1. ユーザー登録を行っていない場合
2. 購入日が明記されていない場合
3. 取扱上の誤りによる故障及び損傷、不当な修理や改造などをされた場合
4. お買い上げ後の移動、落下または郵送などにより故障、損傷が生じた場合
5. 火災、天災、地変、ガス害、または異常電圧により故障、損傷が生じた場合

保証書は、日本国内においてのみ有効です。

保証期間は、製品お買い上げ日より算定いたします。

保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

保証書

弊社の保証規定を必ずご覧ください。

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日より 1 年間
製品名	4PORT FAST ETHERNET SERVER ADAPTER
型番 Product No.	FXP-4AT
製造番号 Serial No.	

個人使用 法人使用 (チェックしてください。)	
個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。	
フリガナ	
会社名 (個人名)	
部課名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住 所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都 府 道 県
電 話	— — 内線
F A X	— —
E-MAIL	

購入店名 所在地	
-------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ホームページ上でユーザー登録を行って戴いたお客様には抽選でプレゼントを差し上げております。ぜひホームページ上のユーザー登録をご利用くださいますようお願いいたします。

<http://www.planex.co.jp/>

インターネットをご使用になれないお客様は、本マニュアル最終ページのユーザー登録はがきをご使用ください。切り取って必要事項をご記入の上、弊社宛にご返送ください。インターネット上でユーザー登録をされたお客様は、ユーザー登録はがきをご返送いただく必要はありません。

ユーザー登録書の記入方法

ユーザー登録書をご記入いただく場合には、以下の事項を参考にしてください。

“製造番号”には、パッケージ側面に貼られているバーコードシールの“S/N”または商品裏側に記されている内容をご記入ください。

ユーザー登録書の表面の使用環境を忘れずに必ずご記入ください。サポート時の参考情報とさせていただきます。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

郵便はがき

お手数ですが
切手を貼り
ポストに
ご投函下さい。

101-0041

東京都千代田区神田須田町 1 -7
ウイン神田高橋ビル 5F

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

『テクニカル・サポート担当』 行

ご使用になっている環境をお知らせください。

使用 ネットワークOS	
使用OS	
使用機種	

ユーザー登録書

(プラネックスコミュニケーションズ 控)

購入日	西暦 年 月 日
製品名	4PORT FAST ETHERNET SERVER ADAPTER
型番 Product No.	FXP-4AT
製造番号 Serial No.	

個人使用 法人使用 (チェックしてください。)	
個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。	
フリガナ	
会社名 (個人名)	
部課名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住 所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都 府 道 県
電 話	— — 内線
F A X	— —
E-MAIL	

購入店名 所在地	
-------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社